

要求水準書（案）における事業コンセプト及び施設の景観の記載について

■要求水準書（案） 抜粋

第1編 総 則

第3章 事業の基本条件

1. 熱回収施設等の計画にあたって

1.1. 市民の生活環境に配慮した施設

1.2. 市民が安心して生活できる災害に強い施設

市民が安心して生活できる様に、地震・風水害・火山災害等の大災害において、新施設が地域の避難施設となり、市民を支えることができる施設とする。

- (1) 熱回収施設等は人命及び物品の安全性確保が特に必要な施設とし、構造体はⅡ類（耐震基準 1.25）、建築非構造部材は A 類、建築設備は甲類とし、地震に強い施設とする。
- (2) 熱回収施設等は非常時においても安全に停止させる制御システムを備えたものとし、災害時に全炉緊急停止しても自力で炉を立ち上げ、早期に発電が可能な施設とする。
- (3) 熱回収施設等は災害に強いライフライン（構内通路・電気・ガス等）を整備するものとし、災害時に有用な防災機能を確保した施設とする。

1.3. 市民がともに学び・遊び・育むことのできる施設

1.4. 市民が安全に生活できる安定的な運営

■要求水準書（素案） 抜粋

第2編 施設性能基準

第5章 土木・建築工事共通事項

1. 土木建築性能

1.2. 一般事項（建築）

(1) 意匠

熱回収施設等の外観及び内観における意匠の考え方は【別添Ⅱ－1：建築計画図（参考）】及び以下の2つのデザイン①に基づいたデザイン及び材料、色彩とし、特に外観については、敷地周辺の丘陵・緑地を取入れ、工場のイメージを感じさせないデザインとする。詳細については事業者による【提案】とする。

ただし、提案時に煙突を含む外装デザインを示す立面図を3案【提案】し、その内、推奨案とする1案の外観パースを作成する。3案のデザインコンセプトは同一とし、平面計画に大きな差が無いものとする。事業者決定後、概ね6ヶ月以内において市と協議の上、最終決定するものとする。

①「周辺環境との調和を図るデザイン」

- ・隣接緑地と調和するよう、自然素材等を用いたデザイン
- ・住宅地の街並みに調和した陰影のある繊細なデザイン
- ・建物全体で統一感を感じられるデザイン

②「地域に親しまれるデザイン」

- ・いつでも人の姿を感じる、地域に開かれたデザイン
- ・清潔感が感じられ、愛着が湧くデザイン
- ・優しさや温かみを感じるデザイン

(2) 仕上げ

① 外部仕上げ

- ・外部仕上げについては【別添Ⅱ－1：建築計画図（参考）】の立面図及び以下のとおりとする。詳細については事業者による【提案】とする。ただし、外部仕上げの仕様や色等については、実施設計完了時までには数案【提案】し、市と協議の上、最終決定するものとする。
- ・外部仕上げについて、外装主材及び表面仕上げは長寿命でメンテナンス（清掃管理も含む。）に手間がかからないものとする。
- ・敷地周囲からの景観に配慮し、バイオガス化施設が敷地外から直接見えることの無いよう、バイオガス化施設の周囲には目隠し壁等を設置する。